



遊びを通して育む資質・能力

園長 須田なぎさ

10月後半から両学年ともに、保育参観を行いました。お忙しい中、ご参観いただきありがとうございます。4歳児は、自分でやりたいことを見付けて、じっくり製作をしたり、役になり切ったりして遊ぶ姿。5歳児は友達と関わりをもったり、考えを出しあったりして楽しむ姿をご覧いただけただけでしょうか。

幼稚園教育要領には、幼児期に育みたい資質能力として、「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の三つが示されています。

【知識及び技能の基礎】とは、豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりすること。【思考力、判断力、表現力の基礎】とは、具体的には、気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりすること。【学びに向かう力、人間性等】とは、具体的には、心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとすることである。と記されています。さらに、この幼児期に育みたい資質能力は生きる力の基礎であり、小学校以降の子どもの発達を見通しながら、遊びを通して総合的に育てていくことが大切であるとされています。

子供園では、自然との関わりを大切にしています。特に5歳児は、裏庭や自然園で植物を育てたり、カブトムシやカメを飼って世話をしたりする中で、自分の体を使って触れて心を動かす体験～直接的な体験～をしています。心が動くことで、色々なことを感じたり、気付いたりし、さらに、気付いたことや分かったことをもとに、作ったりかいたりする活動につながっていきます。

先日高円寺小学校の展覧会に出展した作品～きのこの森のカメ散歩～は、展示のためにかいたものではありません。遊びの中で楽しんできたものを作品としました。5歳児は、普段世話をしているカメのことを改めてじっくり見て、甲羅やおなかの模様に関心、一人一人が丁寧にカメの絵を仕上げていました。また、かいたカメを少し立体にして動かして遊ぶ中で、お話づくりにつながり、友達と考えを出し合い、人形劇となりました。この活動の中で育っている資質・能力として、様々な気づきや発見の喜び【知識・技能等】、自分なりの表現、言葉による表現・伝え合い【思考力等】、自然事象への関心、目的の共有・協力【学び等】に向かっている姿が見られます。

4歳児も、大好きな「きのこ」の歌を歌う中で、歌にでてくる様子を、体を動かして表現したり、きのこをかいたり作ったりして遊ぶことを楽しみました。この中で育っている資質能力は、絵の具などの表現のための基礎的な技能の習得【知識・技能等】、動きや言葉、製作等での自分なりの表現【思考力等】、保育者に親しみをもつ（安定した情緒）、楽しそうと感じ遊び始める意欲、周囲の友達と一緒に動くことを楽しむ共有【学び等】などに向かっている姿が見られます。

幼児期に育みたい資質・能力は、成果が視覚的にみえるものでも「～をしたら身につく」というものでもありません。毎日の遊びや生活の中で、保育者は、幼児の心を動かした瞬間を逃さず、さらに経験が深まるように、子どもたちの「やりたい」意欲、「いいこと考えた」という発想を引き出していきます。こうした子供園での遊びを、保育者が丁寧に環境で支えていくことで充実させ、幼児期に育てたい資質・能力をバランスよく育んでいきます。



《12月の保育》

★たんぽぽ組

たんぽぽ組は親しみやすく、くり返しが楽しいストーリーの絵本を楽しんでいます。そのお話に出てくる役や自分のなりたい動物になって、ストーリーに沿って動いたり、友達と簡単なやりとりをしながら表現活動を楽しんでいます。子ども会に向けて、これまでの遊びや生活の中で、子どもたちが経験したことや楽しんだことを折りこみながら、のびのびと表現できるようにしていきます。

また、寒くなってきましたが、天気の良い日は、戸外で鬼ごっこやボールゲームなど、ルールのある遊びで、体を動かすことを楽しめるようにしていきます

年末の片付けや大掃除なども協力してすすめ、気持ちよく新しい年を迎えられるようにします。



★にじ組

子ども会に向けての取り組みでは、役になりきって自分なりに表現することを楽しんだり、同じ役の仲間と相談して言葉や動き、劇に必要な物などを決めたりする経験を重ねています。学級の皆で取り組む中で、友達の良さに気づき認め合い、共通のめあてに向かって力を合わせ、一つの劇を作り上げる満足感を味わえるようにしていきます。

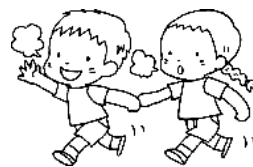
子ども会の後は、自然物を使ってリースを作ったり、ドッジボールやじゃんけん鬼などの運動遊びを楽しんだり、縄跳びや鉄棒に挑戦するなど、様々な活動に取り組みます。自分なりのめあてをもち、友達の刺激を受けながら、工夫したり継続して取り組んだりできるようにしていきます。

《園からの連絡》

★寒さに負けない体作りを心掛けましょう。

寒い時期は、つい部屋の中で過ごしがちです。戸外に出て元気に遊び丈夫な体作りをしましょう。そして、コートの下は大人よりも一枚少なめにし、動きやすい薄着の習慣を心掛けましょう。子供園では、半ズボンでの生活が基本です。園では1日1回は、体を動かす機会を作っています。戸外でも日なたで運動すると汗をかくので、厚着だと逆に風邪をひきやすい状況になります。また、室内は床暖房もあり暖かいです。下着をきちんとズボンの中に入れる、首元や袖口が開きすぎないものを着ることで、薄着でも、寒くなりません。幼児期から、薄着を心掛けて丈夫な体を作りましょう。

《園からの連絡》



★ノロウイルスやインフルエンザに気を付けましょう。

ノロウイルスは、感染性の強い胃腸炎で、少量のウイルスでも感染します。症状は嘔吐と下痢で子どもは嘔吐が多く、大人は下痢が多いようです。感染者の嘔吐したものからはウイルスが舞い上がり、嘔吐物を拭いても、消毒が不十分ですと、感染者を増やします。

インフルエンザもこの時期になると流行し、学校や園での学級閉鎖となる場合があります。

◎新型コロナの感染者数は落ち着いてきていますが、園生活では引き続き、感染予防を徹底していきます。ご家庭でも手洗い・うがい、換気、湿度などに注意していきましょう。

★通園時は、帽子をかぶりましょう。

一年を通して、通園の時は帽子をかぶることを入園の際にお約束しています。帽子は、冬は暖かく身を守ることになります。安全のためにも、帽子をかぶって通園しましょう。

※自転車乗車の際にはヘルメットを着用し、降りた時に帽子をかぶりましょう。

★手袋・マフラーは登園時に保護者の方にお預けします。

短時間保育児は、登園の際、手袋とマフラーを保護者の方にお預けいたします。また長時間保育児についても、可能な範囲でお預けしています。

守っていますか？ SNSルール

東京都では小学生、中学生が児童・生徒のいじめ等やトラブル、犯罪に巻き込まれないように「SNS東京ルール」を策定しています。必要なルールとして5項目が示されています。①1日の利用時間と終了時間を決めて使おう。②自宅でスマホを使わない日を作ろう。③必ずフィルタリングを付けて利用しよう。④自分や他者の個人情報や載せないようにしよう。⑤送信前には、相手の気持ちを考えて読み返そう。です。

ご存じでしたか？保護者の皆様には当てはまらないことも多いのですが、⑤の、『送信前には、相手の気持ちを考えて読み返そう』に関しては、大人でも気を付けていきたい項目ですね。区内の就学前教育施設でも、保護者間でのトラブルになったり、園に相談にくる保護者が増えたりしています。

SNSは相手に思いを伝えたり、情報を共有したりするのに大変便利なツールですが、相手の顔が見えないため、軽い気持ちで書いたことでも相手に不快な思いをさせてしまうこともあります。園の保護者同士が書き込んだ内容や、ちょっとした意見のすれ違いからSNS上のケンカ（炎上）になると、園生活が親子ともに不安になる事でしょう。

情報発信をするときには、送

信先には相手がいることを忘れずに、思いやりの気持ちを持ち、一度読み返してから送信しましょう。

副園長 川副

